



心からのんびりできる。  
そんな、  
女木島の素晴らしさを  
次の世代に伝えていきたい。

Interview  
女木島 オーテの宿  
鬼ヶ島ステイ  
三島 恵子さん



オーテと呼ばれる頑丈な石垣が、暮らしを守る古民家の風情。  
女木島の尽きない魅力を伝えるため、そんな古民家を再生して、念願の民宿経営をはじめました。  
これまでの苦勞や、これからの思いを今回じっくりお伺いしました。

## 現在、農林漁家民宿をどのような形で営業されていますか？

『オーテ』と呼ばれる、女木島独自の石垣に囲まれた築90年余の古民家を改装して、2024年5月に宿を開業しました。最大7名のお客さまをお迎えできるよう準備しています。宿には小屋裏や茶室スペースなど、古民家ならではの工夫が建物の隅々にまで活かされています。訪れたお客さまは「秘密基地みたいでワクワクする」「時間を過ごすだけで、贅沢な気分になる」といってくださいます。そんな味わい深い設えに加えて、働きながら休暇を楽しむ方のワーケーションに対応するため宿内には光ケーブルを敷設しWi-Fiも完備しています。パソコンやスマホも快適にご利用いただけます。

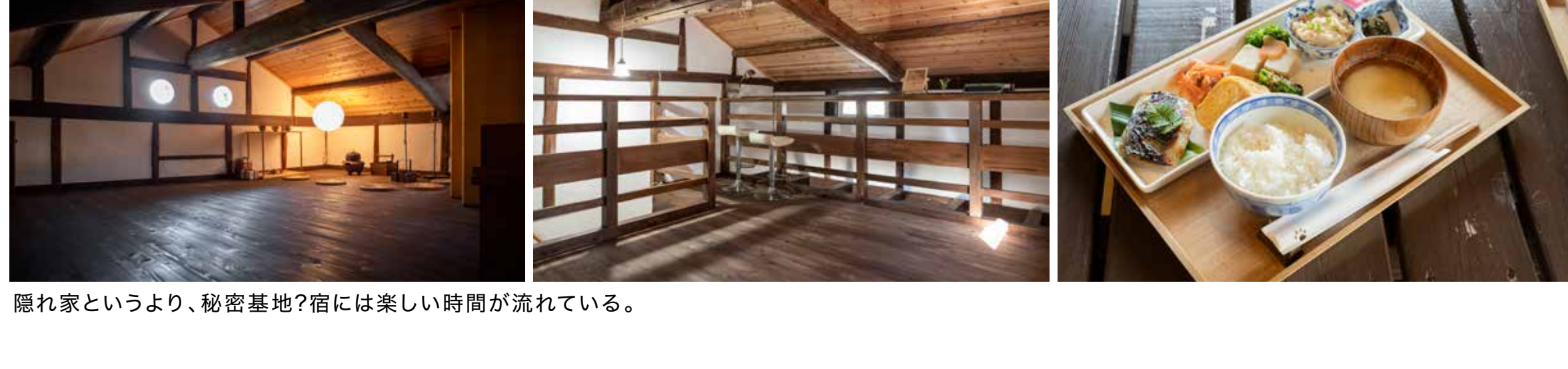
利用料は、素泊まり(朝食サービス付き)1泊の基本料金が大人2名で36,000円。人数が増える場合は、おひとりあたり12,000円を加算させていただく料金設定で、小学校のお子さままでおひとり6,000円に対応しています。お食事に關しては、食材を持ち込んで自炊をされる方には、宿に炊飯器や調理器具、食器、調味料などを備えておりますので、自由にお使いいただけます。私と一緒に島の食材で調理を楽しみたいという方も、もちろんウエルカムです。ご宿泊の方には、うちが経営しているアンティークカフェ『鬼ヶ島倶楽部』で朝食をサービスしていますので、宿でゆったりと寛いでいただけますね。

夕食の用意を希望される方には、お野菜やお魚にこだわった『島ごはん夕食』を鬼ヶ島倶楽部で提供いたします。また『島の海鮮付きバーベキュー』は、お客さまに宿のお庭でワイワイガヤガヤと楽しみながら焼いていただきます。食材についてはご用意もいたしますが、持ち込みも結構です。鬼ヶ島倶楽部の島ごはんも、お庭のバーベキューもおひとり3,000円〜ご用意できます。

ご泊りご予約や食事、体験等のオプションのご予約については、いずれも提携している旅行サイト『gochi荘』(https://gochisouyado.com)から、お願いしています。



海しぶきから家を守る石垣『オーテ』。今はモダンな民宿を守っている。



隠れ家というより、秘密基地?宿には楽しい時間が流れている。

## お宿のPRポイントをお教えてください



宿を訪れるお客さまに極上の休日をお過ごしいただきたいので、そのためのおもてなしを考えました。まず、宿を彩る設えや調度品などに、とことん工夫を凝らしました。私の父から受け継いだ骨董品や家具、私と主人がこれまで大切に収集した和洋のアンティークを宿内にちりばめて、空間演出を手掛けたんです。島の穏やかな空気と、そんな古民家が融け合いながら紡いだ『ここにしかない雰囲気と時間』を、ゆったりと楽しんでいただければ、うれしいですね。



体験オプションは『よもぎ蒸し』『サップ』『貸し自転車』『ガーデンバーベキュー』など多彩です。もちろん、お庭のペランダでブランコに揺られるもよし、ハンモックでぼっくすりするもよし、何もせずに「のんびりと島時間に浸る」というのもオススメです。

## なぜ農林漁家民宿をはじめようと思ったのでしょうか？

私は「女木島コミュニティセンター」に勤務していたことがきっかけで、この島の自然や人が大好きになりました。それで主人の会社勤めのリタイアを契機に、古民家を改装して小さなアンティークカフェ『鬼ヶ島倶楽部』を2019年の春にオープンしたんです。そうすると人との交流が広がり、島の歴史にも詳しくなり、さらにこの島が好きになって「この島の環境や文化の素晴らしさを、次の世代にも繋げたい」と思うようになりました。

でも、自分が何ができるかと考えていた時、大きな石垣『オーテ』に囲まれ、数十年もの間空き家になっていて(瀬戸内国際芸術祭2019で『家船』という作品として使われていた時期もありましたが)、荒れ果てた家に出会いました。それで「このオーテに囲まれた家をなんとか生かせないものか」と考えた時、島には宿泊施設がまだまだ足りないと感じていましたし、近年問題化しつつある『空き家対策』にも役立つので「宿にしたなら、どうだろう」と思いついたんです。家族からの反対も特になく、というか独断で宿の開業に進みはじめて、気がついたら一緒についてきてくれていたという感じです(笑)。



島で最初に始めたカフェ『鬼ヶ島倶楽部』

これも宿自慢の1つ、広いウッドデッキ。

島の人と自然が大好きと語る恵子さん

## 開業するための経費について教えてください

宿をはじめるとあっては家の改築というより、再生に近い作業が必要でした。建物自体の改修整備をはじめ、電気や水道など生活インフラの整備もイチから手掛けることになりましたので、建築業者に工事を依頼しました。けれど、ここは離島ですので、建材など運搬にはフェリーを使いますし、大工さんも一日縛りの作業になるので特に割高になり大変でしたが、すべては「夢への投資」と考えて、宿開業に必要な工事に對しては、思いきって費用を掛けましたね。

ただ私は自分でしたい性格なので、床や漆喰壁は時間がかかっても自分で済ませていました。しかし、床や階段のペンキ塗り、すべての壁の漆喰塗りは思いのほか難作業でした。鬼ヶ島倶楽部を閉店したあと、主人とふたりで作業をしていた時には、鬼ヶ島倶楽部のお客さまに愚痴ったこともありました。すると何組かのお客さまが、愚痴を聞きつけ「私たちが、ペンキ塗り隊を結成して手伝いますよ」と言ってくれたんです。冗談だと思っていましたが、本当に駆けつけて助けてくださいました。小豆島、高松、大阪、速くは東京、さらにニューヨークから!おかげで本当に早く完成しました。感謝しかありません。

## 旅館業法等の開業手続きは、ご面倒ではなかったですか？

お役所や関連各所に開業申請するためには、様々な手続きや書類を提出し、法令のクリアが必要でした。しかし、香川県農林整備課のスタッフの方が親身に手助けいただいたおかげで、この難関をスムーズに突破することができましたね。ご担当の方は、申請作業に馴れているのでしょうか「さすがだな」と思えるアドバイスは、チェックして伝えてくださるのですが、本当に心強かったです。

ただ保健所からは、検査時に「建物内の照明が暗いので明るく」との指導をいただき、私はムーディーな雰囲気仕上りだったのですが叶わなかったです。難しかったのは、その1点くらいです。



## 農林漁家民宿を開業して良かったことは何ですか？

本来は出会うことがないような方と、この宿を通じて知り合ったり、話をしたりできることでしょうか。うちに訪れてくださるお客さまは、まだ国内の方ばかりですが、遠くは関東や東北からいらっしゃいます。それだけでも、うれしいことなのですが、島の自然や食事を楽しまれて「ここは本当にいいところですね」と、島を愛する気持ちを共有し合えることがとても幸せです。思いきって宿を作って良かったと思いますね。

あと、自分では特に意識することは無いのですが、島の友人たちからは「日々楽しそうで羨ましい」や「歳を重ねてもやるべきことがあるのは素敵だね」ともいわれます。私自身は、ただ忙しかけているだけなのですが、そういわれると「そうか」と、納得することがあります。



宿開業の協力者のサインが壁面に。

県都・高松市の夜景が美しい。

## 宿泊者とのエピソードで心に残ったことがあれば教えてください



香川県に住むおじいちゃんおばあちゃんと、東京に住むご子息の4人家族から「思い出に残る旅にしたい」とのメールが届きました。「子どもたちと釣りが見たい」と釣り名人のアドバイスが受けられる海釣り体験のオプションを予約され、私たちの宿にいらっしゃって、私も同行して釣りをしている当日、釣り名人が指定する時間と場所に行って、私も同行して釣りをしている様子を見守っていたのですが、魚が釣れるとお孫さんが大喜び。ご家族皆さんの弾けるような笑顔を見て、私自身も感動をもらいました。ご紹介した釣り名人も「教え甲斐」があったようで、喜んでいました。この宿が、人と人の新しい絆をつくれたようで、とても心に残る一日になりましたね。

もうひとつは、とある大きな会社の部長さんに「貴方の年齢で、よく宿を開業されましたね。度胸がありますよ」といわれたことです。私には宿の開業は必然でしたし、歳のことなど考えたこともなかったのですが、ちょっと驚きました。世間的には、隠居する年齢なのかも知れませんが、自分のやりたいことができて、周りの人も喜んでくれる。そんな今の時間を、とても愛しています。これからも、頑張っていきたいです。

## 農林漁家民宿の魅力は何ですか？

我が家の畑で農作物の収穫をともにしたり、魚を釣ったり。お客さまが普段の生活の中では経験できない体験を、準備して提供できる。しかも、私たちと家族や友人のような距離感でお話しながら、楽しみながら体験していただけるのが、農林漁家民宿の素晴らしさではないかと思えます。



様々な体験メニューが人を笑顔を運んでくれる。

## 農林漁家民宿の今後の目標を教えてください

女木島は、高松から船旅20分圏で来られる楽園です。近年は、『瀬戸芸』で多くの方が訪れるようになり、島の魅力も少しずつ広まってきました。でも、本当に素敵な島時間を味わっていただくためには、島に滞在(ステイ)してほしいです。この島には、伝説の『鬼ヶ島洞窟』や、瀬戸内を360°見渡せる『鷲ヶ峰』、燃えるように赤く染まる『西浦港の夕陽』、SUPや海水浴などのマリンスポーツなど、退屈しない自然とアクティビティが山ほどあります。多くの魅力を味わっていただくために、日本中といわず、世界中からお客さまをお迎えしたいです。いまは国内の予約サイトとだけ契約していますが、その目標を達成するためには、いま新しいトラベルサイトとの契約を現在検討中です。ただ、インターネット経由だと、ダブルブッキングなどのトラブルもあると聞くので、お客様にご迷惑をかけないよう、そこは慎重にしていきたいです。

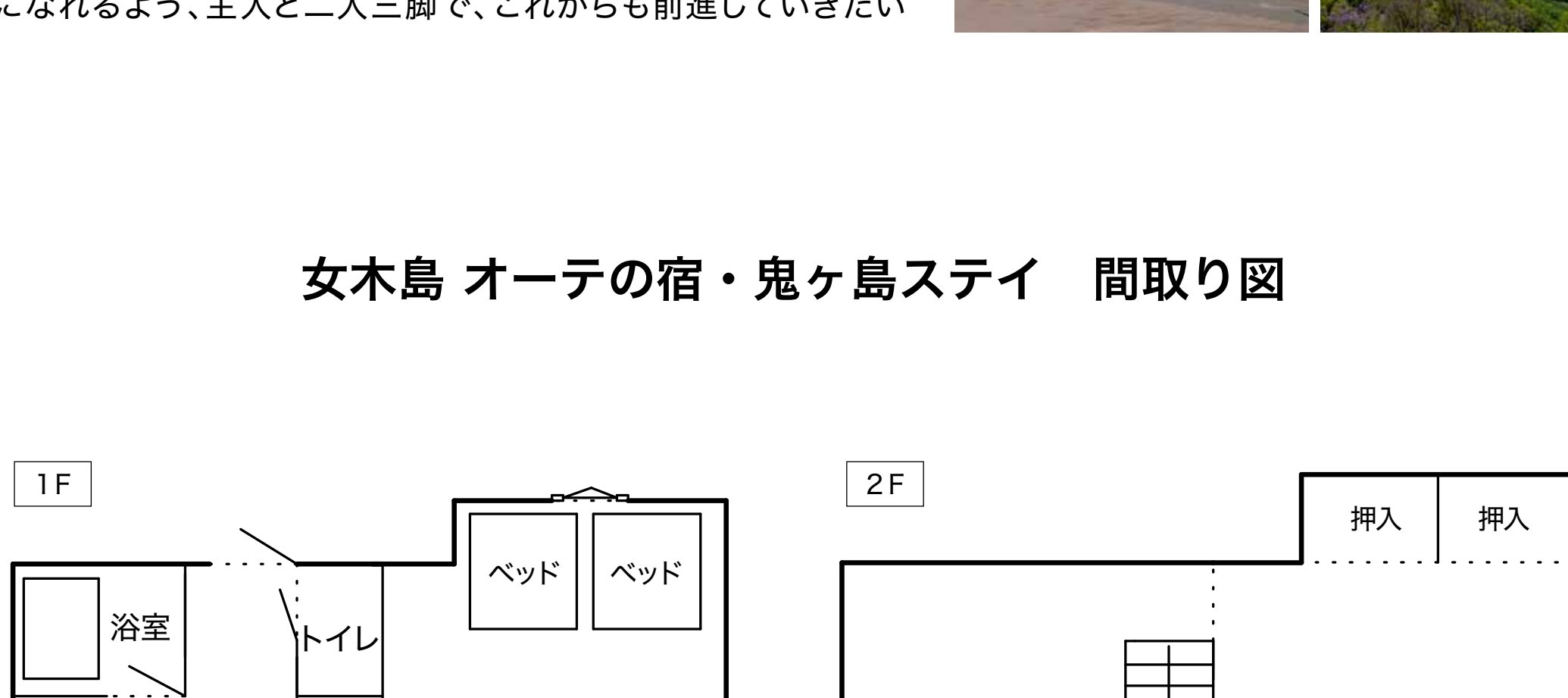
施設の魅力づけとしては、せっかく広い庭があるので、有効活用のひとつとして『露天風呂』の増設を考えています。「お風呂作りをするときは、手伝いに行きます」といってくださるボランティアのペンキ塗り隊の方たちが何人もいますので、近い将来にぜひ実現したいですね。島をはじめ、日々忙しいですが、女木島の文化的景観や、穏やかな島の人や環境、素敵な恵みを次の世代へつなぐ橋渡し役になれるよう、微力ではありますが、頑張りたいと思っています。この宿を介してそのチカラになれるよう、主人と二人三脚で、これからも前進していきたいです。



宿の思いは「女木島の景観や環境を次世代につなぐチカラになる」と。



## 女木島 オーテの宿・鬼ヶ島ステイ 間取り図



全て宿泊者利用

## 女木島 オーテの宿・鬼ヶ島ステイ 基本情報

住所	〒760-0092 香川県高松市女木町2
電話番号	090-5279-7960
活用した建物	古民家
営業期間	通年不定休(要予約) チェックイン: 15:00~ チェックアウト: 11:00
宿泊スタイル	1棟貸し
体験メニュー(オプション)	○テントサウナ体験 ○サップ ○海釣り体験(名人によるレクチャー付き) ○農産物の収穫体験 ○よもぎ蒸し体験 ○ガーデンバーベキュー・ピザ焼き体験 ○オリーブの新漬体験(季節限定) ※各体験とも要事前予約
食事	朝食、ご予約夕食(鬼ヶ島倶楽部)3,000円~/名(要事前予約) バーベキュー用海鮮、肉、野菜等3,000円~/名(要事前予約) その他、自炊用食材もご用意します。/時価(要事前予約)
宿泊料	基本料金 素泊まり1泊 大人2名で36,000円 ※1名増える毎に12,000円追加 小学生までのお子さま 6,000円/名 ※ご予約は『gochi荘』https://gochisouyado.comから
ホームページ	https://oute-yado.com/

※施設の情報については、令和7年1月31日現在のものです。